

① テント設営

対象

小学

中学

高校

一般

- ◎創造的思考力・行動力
- しなやかな力
- ◎コミュニケーション力
- 自己肯定感

クリチャレ効果



ドームテント

ティピーテント



ねらい	安全に正しい手順で、テントを設営する技能を身に付ける。
内容	テントや寝袋など、用具の正しい使い方を学び宿泊する。
主な手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 諸注意を聞く。 ② テントを倉庫から運ぶ。 ③ 設営するテント周辺の安全を確認する。 ④ テント設営後、インナーマット、寝袋、シーツを準備する。 ⑤ 使用後はテントを乾燥させてから畳み、テント、寝袋、シーツを返却する。

対応人数

ドーム型5人定員
ティピー型8人定員
※保有数は、ドーム型30張、
ティピー型9張。

支援体制

職員の説明可

所要時間

1時間程度

費用

上記写真テント貸出 無料
施設使用料 有料

活動場所

テントサイトA・B

準備物

軍手

留意点

- ・暴風雨など悪天候の際には、活動を中止する場合があります。
- ・テント内や周辺では、火気の使用を禁止いたします。



マナビの視点・教育課程との関連例

- ・小学校5・6年家庭科「B 衣食住の生活 (6)快適な住まい方」
- ・中・高家庭科「B 衣食住の生活 (6)住居の機能と安全な住まい方」

②火起こし体験

- 創造的思考力・行動力
- しなやかな力
- ◎コミュニケーション力
- ◎自己肯定感

クリテチャレ効果

対象

小学

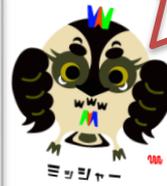
中学

高校

一般



限られた条件
の中で火を起
こせるかな？



ねらい	火の起こし方の仕組みに気づき、資源としての火の大切さを学ぶ。
内容	与えられた条件の中で、仲間と協力して火を起こす。 (活動の流れで焼き板作り、野外炊事、ボンファイヤーにつなげることができる)
主な手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 諸注意を聞く。 ② たき火台、火ばさみ、革手袋、バケツを準備する。 ③ たき火台を組んだら、薪を組む。 ④ 紙、木の皮など種火の元となる物に点火する。(※マッチ数を限定してもOK) ⑤ 終了後15分程置き、熱が下がっていることを確認して片付けをする。

対応人数

たき火台1台に
4～6人が適
※保有数は、たき火台17台、
たき火台テーブル15台。

支援体制

職員の説明可

所要時間

1時間程度

費用

- ・薪(野外炊飯用) 有料
→薪は持ち込み可
- ・野外炊飯棟使用料 有料

活動場所

野外炊飯棟、
キャンプファイヤー場

準備物

- ・軍手 ・マッチ、ライター、
ファイヤースターター等
- ・着火剤用品(新聞紙、松ぼっくり等)

留意点

- ・周囲に燃えやすい物がないか十分注意してください。
- ・木材は可能な限り燃焼させると、後処理がしやすくなります。



まなびの視点・教育課程との関連例

- ・小学校6年理科「燃焼の仕組み」

③ボンファイヤー

対象

小学

中学

高校

一般

○創造的思考力・行動力

○しなやかな力

◎コミュニケーション力

◎自己肯定感

クリテチャレ効果



ねらい	メンバー同士の交流を深め、炎の癒やしの効果により感動と思い出を深める。
内容	火を起こしてたき火を囲み、交流を深める。
主な手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 諸注意を聞く。 ② たき火台、火ばさみ、革手袋、バケツを準備する。 ③ たき火台を組んだら、薪を組む。 ④ 紙、木の皮など種火の元となる物に点火する。 ⑤ 終了後15分程置き、熱が下がっていることを確認して片付けをする。

対応人数

適宜

支援体制

団体側で実施

所要時間

2時間程度

費用

- ・ 野外炊飯棟使用料 有料
- ・ 薪（野外炊飯用） 有料
→ 薪は持ち込み可

活動場所

野外炊飯棟、
キャンプファイヤー場

準備物

- ・ 軍手 ・ マッチ、ライター等
- ・ 着火剤用品

留意点

- ・ 周囲に燃えやすい物がないか十分注意してください。
- ・ 木材は可能な限り燃焼させると、後処理がしやすくなります。

備考

- ・ 上記写真のたき火台テーブル貸出可能

④ キャンプファイヤー

- 創造的思考力・行動力
- ◎しなやかな力
- ◎コミュニケーション力
- 自己肯定感

クリチャレ効果

対象

小学

中学

高校

一般



ねらい	火を囲み、活動を振り返ったり、仲間との思い出や交流を深める。
内容	安全に留意し、役割を決めてキャンプファイヤーをする。
主な手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 場所（AまたはB）と使用時間の確認をする。 ② 薪を運び、井桁を組む。 ③ リハーサルを行う。 ④ 点火し活動を始める。 ⑤ 消火を確認し後片付けをする。（燃えかす処分は翌朝行う。） <p>貸し出し（放送機器、バケツ、ホース、スコップ等）物の返却</p>

♪ い〜つの
日かあ〜♪



対応人数

80人程度まで

支援体制

団体側で実施

所要時間

2時間程度

費用

キャンプファイヤー用薪 有料

活動場所

キャンプファイヤー場

準備物

- ・新聞紙
- ・軍手
- ・灯油
- ・CD、衣装、トーチ等必要な物

留意点

- ・近くに住宅があるため午後9時には終了してください。
- ・悪天候の際はボンファイヤー、キャンドルサービスへ変更ができます。
- ・アンプセット、CDプレイヤーは貸出可能です。事前に申し出ください。

⑤キャンドルセレモニー

- 創造的思考力・行動力
- ◎しなやかな力
- ◎コミュニケーション力
- 自己肯定感

クリチャレ効果

対象

小学

中学

高校

一般



ねらい	活動を振り返ったり、仲間との親睦を深める。
内容	ろうそくの火を囲み、ゲーム、スタンプ、語り合いを通して仲間と交流する。
主な手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 防火シートを敷き、その上に燭台（２種類有り）をのせる。 ② 迎火のつどいを行う。（静かに火を迎える。） ③ 交歓のつどいを行う。（ゲーム、スタンプなど） ④ 送火のつどいを行う。（高揚した気持ちを落ち着かせる活動） ⑤ 消火を確認し、後片付けをする。 <p>※プログラムについて相談に応じます。</p>



対応人数

適宜

支援体制

団体側で実施

所要時間

2時間程度

費用

施設使用料 有料

活動場所

体育館、コテージ、
研修室

準備物

- ・燭台用ろうそく（大口ー10号）
- ・アルミホイル ・CD、衣装等儀式的物品

留意点

- ・具体的な内容は団体におまかせいたします。
- ・時間にゆとりのある計画をおすすめいたします。
- ・燭台は木製（上記右画像）と鉄製（組み立て式）（上記左画像）があります。
- ・燭台用ろうそくは、若干量の提供が可能です。